

基山町まちづくり提案書

基山町まちづくり基本条例第16条の規定に基づき下記のとおり提案します。

提案期日	平成27年 11月 24日	
提案件名	『里山保全を考える月間』の制定	
提案者	住所又は所在地	宮浦486-66 電話92-5879
	氏名又は名称	福田一男
	※提案者が基山町の住民でない場合は、勤務先又は通学先も記入して下さい。	
	提案書の公表にあたり、住所、氏名及び連絡先の公表を希望しますか。 ○希望する 一部希望する () 希望しない	
※未成年者が氏名等の公表をする場合は、法定代理人の承諾が必要です。		
提案の概要	森林破壊を招いている竹林の伐採および植林作業を通して、水資源の保全・里山の保全を考え、自然の恵みに感謝する心を育てる月間を制定し、未永く町民や子供たちにそれを促すとともに実践し定例化する。	
提案の背景	基山の優位性の一つに『調和のとれた自然の豊かさ』があります。これは、自然に天から降って来たものでもありませんし、地から湧いて来たものでもありません。一朝一夕に出来上がったものではなく、何世紀にもわたり先人たちが自然と向き合っって里山の保全に努めてきた結果、もたらされたのです。しかし、近年の後継者不足は里山の荒廃化を促進し、今や危機的状況であることは否めません。	
提案の課題	この活動の成果は短期間では出ません。明治初期、長岡藩の米百俵の話に似た信念が必要です。単に掛け声だけではなく如何に町の行事として取り組むことができるか。行政のリーダーシップが重要かと考えます。	

目標設定	<p>① 役場から「里山の保全月間制定」趣旨説明 ② 里山保全団体への協力募集 ③ 活動計画の策定</p> <p>等、今年度内に行いたい。</p>
提 案 内 容	<p>「NPOかいろう基山」の里山保全の竹林伐採および植林活動が、今年度の水資源保全活動として評価され、国土交通大臣賞を受賞したことを受けて『みんなで創る 人と自然が輝くまち きやま』のキャッチフーズ通り実践している事を、基山町の誇りとして、町の内外にアピールするまたとないチャンス到来です</p> <p>① 竹林伐採・植林を基山町の観光資源として広く町の内外にアピールし実践する。 ② 町立小中学校の地域活動の一環として、自然・環境学習の一環として竹林伐採・植林を体感させる。 ③ 町民向け里山保全の啓発事業の一環として竹林伐採・植林を体感させる。</p> <p>イベントの告知と集客をしていただければ、現場での指導は有志団体が行います。(なお、NPOかいろう基山は了解済みです)</p> <p>日程・規模・費用に関しては、基本フリーですが、別途調整させていただきます。</p>

※ 提案書に記載された事項のうち、提案者欄以外は公表されます。